

様式(7)

報告番号	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center; line-height: 20px;">甲 保</div> 第 19 号 乙 保
論文内容要旨	
氏 名	森脇 智秋
題 目	Development of a Breastfeeding Support Scale for Couples (母乳育児に必要なカップル間のサポート尺度の開発)
<p>【背景】 出産前は、98%の女性が母乳育児を望んでいるが、産後1か月時の母乳育児割合は約50%である。この母乳育児継続には、夫からのサポートの必要性が報告されており、母乳育児に必要なサポートを、受領者(妻)とサポート提供者(夫)が共に満足できるようにサポート授受の視点からとらえることが重要だと考える。</p> <p>【目的】 本研究の目的は、母乳育児に必要なカップル間のサポートを測定する尺度(BSSC)を開発し、その信頼性と妥当性を検討することである。</p> <p>【方法】 調査対象は、産後1か月の女性(妻)とその夫である。方法は、文献検討と筆者の質的研究結果をもとに、4下位概念を設定し、妻と夫に共通のアイテムプール67項目を作成した。BSSC試案の内容的妥当性・表面的妥当性を検討後、64項目、5件法の尺度を作成し調査した。産後1か月健診に訪れた女性(妻)に、研究の目的について説明し同意を得て配布しその場で回収した。夫への調査は、研究の同意が得られた女性(妻)の夫に同様に説明し配布した。夫が産後1か月健診に同席していない場合は、研究についての説明文と調査用紙の入った封筒を妻に渡し、郵送にて返送してもらった。分析方法は、探索的因子分析による因子の抽出を行い、信頼性は、Cronbach's α係数を求めた。妥当性は、構成概念妥当性、内容的妥当性、基準関連妥当性を検討した。基準関連妥当性の検討には、夫婦関係満足尺度(QMI)と育児ソーシャル・サポート尺度(CSSQ)を用いた。さらに、探索的因子分析で抽出された因子構造を確かめるために確認的因子分析を行い、夫婦のサポート授受と妻の母乳育児継続の自信との関係を構造方程式モデリングで分析した。</p> <p>【結果】 有効回答が得られた妻303名(有効回答率93.5%)、夫159名(有効回答率52.5%)の結果を分析した。探索的因子分析の結果、妻のBSSCは【妻への労わり】【育児や家事の協同】【夫の母乳への想い】の3因子、夫のBSSCは【妻への労わり】【育児や家事の協同】の2因子が抽出された。妻と夫の第1因子と第2因子は同じ因子構造で同じ質問項目であった。妻のBSSCのCronbach's α係数は、$\alpha=0.78\sim 0.90$、夫のBSSCのCronbach's α係数は$\alpha=0.72\sim 0.89$と信頼係数0.70の基準を上回っていた。基準関連妥当性は、QMI・CSSQと妻用と夫用のBSSCとの間には、$r=0.32\sim 0.51$ ($p<0.001$)の相関がみられた。妻用と夫用の各BSSCは、確認的因子分析で容認できる整合性(GFI = 0.907~0.937, AGFI = 0.868~0.898, CFI = 0.931~0.974, RMSEA = 0.057~0.079)を満たしていた。夫婦のサポート授受と妻の母乳育児継続の自信との関係を構造方程式モデリングで示し、整合性(GFI = 0.981, AGFI = 0.943, CFI = 1.000, RMSEA = <0.001, $\chi^2 = 6.446$, df = 7)を得た。</p> <p>【考察】 母乳育児に焦点をあてたBSSCは、夫婦お互いにサポートの認識が確認でき母乳育児を通して子育て支援にも寄与するものと思われる。BSSCによって夫婦のサポート授受が妻の母乳育児継続の自信に影響することが構造方程式モデリングによって確認された。夫婦間で母乳育児を介したサポート授受を確認し合うことは、母乳育児に必要なサポートを効果的・継続的に提供し合うことが可能となり、夫婦の関係性を高め、母乳育児継続に繋がると考える。</p> <p>【結論】 本研究では、母乳育児に必要なサポートを受領する妻と、提供する夫の両方から確認することができるBSSCを作成した。その結果、妻用は3因子14項目、夫用は、2因子10項目の尺度となり、妻用夫用の下位尺度すべてにおいてCronbach's αが、.72~.89という信頼性が得られた。また、内的整合性及び基準関連妥当性も確認できた。さらに、妻と夫の各因子の確認的因子分析と夫婦のサポート授受と妻の母乳育児の継続の自信の関係の構造方程式モデリングは、GFI, AGFI, CFI, RMSEAから整合性を得た。</p>	